

小田原

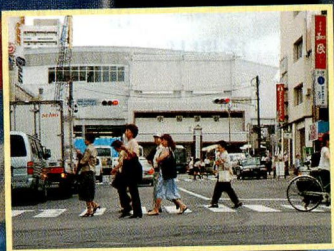
広

報

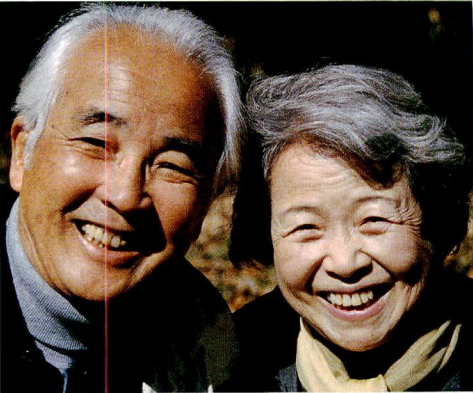
まちのり情



いま、動き出す
明日の笑顔のために!!



小田原市総合計画



「ビジョン21おだわら」



後期基本計画素案が できあがりました

小田原のまちづくりの基本的な方向性を示す
総合計画「ビジョン21おだわら」。

市では平成17年度からスタートする
後期基本計画（計画期間：平成17年度～22年度）の
策定作業を進めていますが、
このたびその素案ができあがりました。

問企画政策課 ☎33-1405

市民の声を反映した 計画づくり

後期基本計画の策定にあたっては、市民の声を計画に反映させるため、市民参加による計画づくりを進めています。その一環として、昨年7月には公募市民による「ビジョン21おだわら」市民提言会議を設置しました。



後期基本計画は、基本構想で定めているまちづくりの5つの目標を実現するため、平成17年度～22年度の6年間に取り組む施策をまちづくりの目標ごとに示したものです。その一部をご紹介します。

後期基本計画での 取り組み

かれて約半年間にわたる議論を重ね、市民の視点による提言書をまとめ、今年1月31日に市長に提出しました。市では、この提言に加え、日ごろ寄せられる市民の意見、市議会における意見や要望などを踏まえ、今回の素案を策定しました。



環境共生都市

自然環境の保全と都市環境の形成との調和のもとに、市民が快適な暮らしを営むことのできる環境共生都市をめざします



森林の保全／河川環境の保全と活用／ごみの減量、資源化、適正処理／ゆとりある良好な居住環境の形成／公園の整備／小田原駅周辺の整備／道路の整備と電線類地中化／公共交通の利用促進…など

生活福祉都市

市民がともに支えあい、住み慣れた地域や家庭で、安心して生き生きと暮らすことのできる生活福祉都市をめざします



福祉サービスの利用を支援する仕組みづくり／介護予防・生活支援サービスの提供／小児医療費助成制度の拡充／バリアフリー施策の推進／健康づくりのための環境整備／市立病院の機能の充実とサービスの向上…など

文化創造都市

多様な文化的活動や教育、学習をととして、だれもが個性や才能を発揮することのできる文化創造都市をめざします



(仮称)城下町ホールの整備／史跡小田原城跡などの整備／共に教え学び合う仕組みの充実／静かなる教育論議の推進／子どもたちの心の健康づくり／新しい教育理念を入れた校舎のリニューアル推進…など

産業自立都市

新しい産業の創出と既存産業の高度化を促し、国際経済の変化に対応できる、活力と創造力にあふれた産業自立都市をめざします



回遊性・滞留性に配慮したもてなしの空間づくり／小田原ブランドとしての伝統文化の発信／遊休農地を活用した都市農業の推進／中心市街地活性化施策の総合的・計画的な推進／空き店舗を活用した起業支援…など

市民参加都市

弾力的で透明性のある市政を実現するとともに、市民の意志と責任でまちをつくることのできる市民参加都市をめざします



市民活動推進条例に基づく市民活動の総合的推進／地域センターの整備／インターネットや次世代情報技術を活用した行政サービスの提供／公共施設の有効活用…など

後期基本計画素案に対する皆さんの意見を募集します。

市役所、各支所・連絡所などの公共施設において配布する後期基本計画素案ダイジェストをご覧いただき、ご意見をお寄せください(ご希望のかたには郵送します。お電話ください)。

なお、素案の全内容は市役所内の行政情報センターと市のホームページでご覧いただけます。

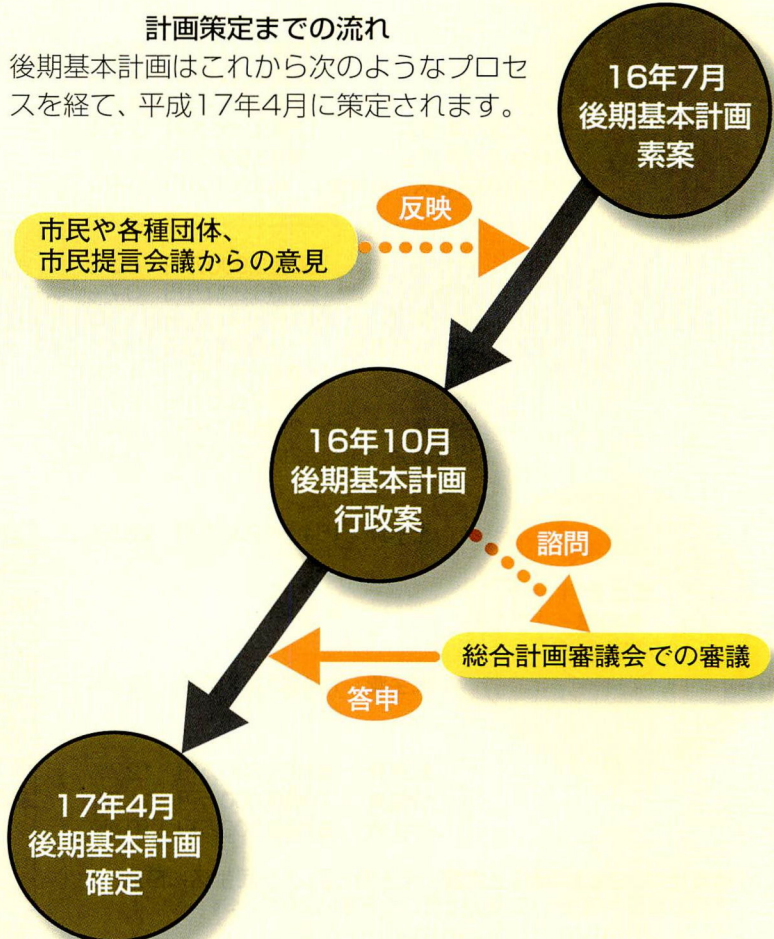
いただいたご意見に対して個別に回答することはありませんが、後期基本計画確定後(平成17年4月以降)、

皆さんのご意見をお寄せください

市のホームページでご意見とその対応状況について公表する予定です。

ホームページ
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/
提出方法 7月31日(土)までに、素案ダイジェストにとしこんである意見様式にご意見、住所、氏名を記入の上、郵送またはファクスでお送りください。Eメールでも受け付けます(様式は自由)。その際は、タイトルを「後期基本計画素案に対する意見」とし、メール本文中に、住所・氏名を書いてください。

〒250-8555
小田原市企画政策課 FAX 331286
Eメール kikaku@city.odawara.kanagawa.jp



小田原市の財政状況

毎年6月と12月に公表している小田原市の財政状況。今回は、平成15年度の最終予算の状況についてお知らせします。問 財政課 ☎ 33 1 3 1 2

平成15年度の一般会計最終予算

一般会計では、6月・9月・12月・3月に補正などを行った結果、予算は最終的に644億5200万円となり、当初予算に比べて、54億5200万円の増になりました。

平成15年度の主な事業は、次のとおりです。



主要事業

(区分は総合計画「ビジョン21おだわら」に基づくものです。)

(環境共生都市)

○リサイクルプラザの開設

○小田原駅東西自由連絡通路の完成

(生活福祉都市)

○訪問介護員(ホームヘルパー)の資質向上事業の実施

○育児相談等に応じる子育て支援スタッフを各地域に配置する地域子育て支援事業の実施

(文化創造都市)

○小田原城馬屋曲輪(水の公園)の整備基本計画の策定及び馬出門の発掘調査

掘調査

○ロボット体験教室やおもしろ算数・国語教室の開催など学びの場を広く提供する子どもの学びサポート事業の実施

(産業自立都市)

○国府津から曾我の里へと続く丘陵地のウォーキングコースの整備

○中心市街地のにぎわいのために民間団体が開催する小田原おでんや小

田原ちようちゃんによる灯りの演出などに対する助成

(市民参加都市)

○女性パワーアップ大学院の開催

○女性団体の活動拠点となる女性プラザの開設への補助

平成15年度の決算状況は、来年1月「広報おだわら」でお知らせします。

依存財源 206億2,000万円

国庫支出金	73億3,900万円	11.4%
市債	59億4,300万円	9.2%
県支出金	31億2,000万円	4.9%
地方消費税交付金	17億5,000万円	2.7%
地方特例交付金	11億5,000万円	1.8%
地方交付税	1億5,000万円	0.2%
その他(地方譲与税、自動車取得税交付金ほか)	11億6,800万円	1.8%

自主財源 438億3,200万円

※自主財源は、皆さんの納めた税金など市が直接調達できる財源です。依存財源は、国や県から入ってくる財源で、額が国や県の基準で定められています。

市税 316億1,800万円 49.1%

繰入金	33億7,200万円	5.2%
繰越金	31億4,000万円	4.9%
諸収入	27億3,100万円	4.2%
使用料及び手数料	17億3,300万円	2.7%
分担金及び負担金	8億2,900万円	1.3%
その他(財産収入、寄付金)	4億900万円	0.6%

教育費	53億3,900万円	8.3%
消防費	23億6,900万円	3.7%
商工費	11億3,400万円	1.8%
農林水産業費	9億300万円	1.4%
予備費	8億7,100万円	1.3%
議会費	4億3,600万円	0.7%
労働費	2億5,900万円	0.4%
諸支出金	2億3,200万円	0.4%

土木費 164億6,200万円 25.5%

民生費 144億7,200万円 22.4%

総務費 81億5,800万円 12.7%

公債費 70億8,000万円 11.0%

衛生費 67億3,700万円 10.4%

構成比の大きなものから土木費、民生費となり、市民生活に密着した道路の整備や福祉などに重点をおいた予算になっています。

市民一人にいくら使われているかを計算してみると...

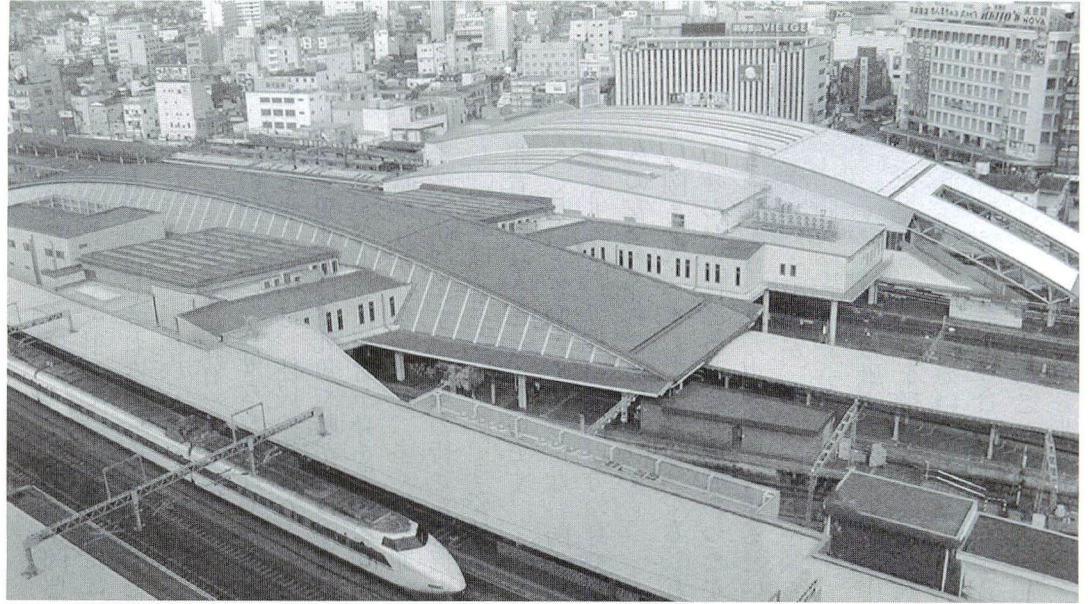
道路・公園・河川の整備のために(土木費)	83,300円
福祉の充実のために(民生費)	73,200円
防災対策・住民登録・市庁舎の維持管理などのために(総務費)	41,300円
借入金の返済のために(公債費)	35,800円
健康対策と清潔なまちづくりのために(衛生費)	34,100円
学校教育・社会教育施設の整備、文化財の保護のために(教育費)	27,000円
火災・水害などから守るために(消防費)	12,000円
商工業・観光の振興のために(商工費)	5,700円
農業・水産業の振興のために(農林水産業費)	4,600円
その他議会の運営、労働者の福祉向上、いざというときのために(議会費、労働費、諸支出金、予備費)	9,100円
市民一人に使われる合計額	326,100円

市民一人あたりの市税納入額 160,000円
(平成16年3月31日現在の住民基本台帳による人口197,618人で計算)



詳しい内容を
知りたいかたは

予算書や決算書などは、
図書館と市役所本庁舎
4階の行政情報センター
で閲覧できます。



特別会計最終予算

会計名	予算現額
競輪事業会計	199億4,300万円
国民健康保険事業会計	156億6,100万円
老人保健医療事業会計	149億7,000万円
下水道事業会計	99億1,400万円
介護保険事業会計	74億8,500万円
公共用地先行取得事業会計	24億6,800万円
宿泊等施設事業会計	8億6,400万円
片浦地区簡易水道事業会計	4億8,900万円
公設地方卸売市場事業会計	1億8,900万円
天守閣事業会計	1億4,500万円
国民健康保険診療施設事業会計	3,700万円
合計	721億6,500万円

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理するための会計です。
小田原市では、競輪や下水道、国民健康保険などの事業を、この特別会計で処理しています。

平成15年度の特別会計最終予算



水道事業会計最終予算

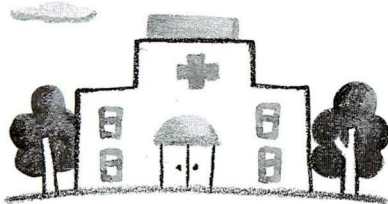
	収入	支出	予算現額
収益的収支	34億4,200万円	34億6,700万円	
水をつくり、送り届ける予算			
資本的収支	4億5,500万円	16億3,900万円	
水を送り届ける施設を造るための予算			

企業会計は、公営で行う企業活動で、経済性を発揮して運営される独立採算の会計です。
小田原市では、水道と病院をこの企業会計で処理しています。

平成15年度の企業会計最終予算

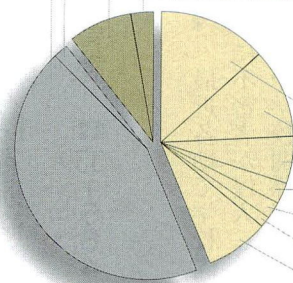
病院事業会計最終予算

	収入	支出	予算現額
収益的収支	95億3,500万円	95億3,400万円	
病院を運営するための予算			
資本的収支	300万円	4億4,600万円	
施設などの整備にかかる予算			



特別会計		
下水道債	596億5,000万円	43.8%
その他	24億2,500万円	1.8%
企業会計		
水道債	104億7,200万円	7.7%
病院債	38億5,100万円	2.8%

一般会計		
土木債	179億7,100万円	13.2%
教育債	149億7,100万円	11.0%
減税補てん債	79億6,000万円	5.9%
衛生債	35億7,600万円	2.6%
総務債	28億4,500万円	2.1%
消防債	17億5,400万円	1.3%
その他	106億4,200万円	7.8%



長期借入金金の状況
(平成16年3月31日現在)
小田原市が長期に借り入れている借金の内訳です。
市民の皆さんからの税金を主な財源とする一般会計における長期借入金金は597億1900万円、市民一人当たりで計算すると30万2200円になります。なお、特定収入をもって特定事業を行う特別会計と独立採算の企業会計の長期借入金総額は763億9800万円です。

みんなの力で安全安心なまちづくりをしよう!!

本市では、地域、警察、行政が一体となり、みなさんが安心して暮らせるまちづくりを進めています。しかし、犯罪は、小田原警察署管内（小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町）で、1日平均で13・3件も発生しています。犯罪が増えるということは皆さんも巻き込まれる可能性が高まることです。自分の身や家族の安全を守るためにはどうしたらよいか考えてみませんか。

問 地域づくり課 ☎ 331457

犯罪者の多くは、入念な準備や凶悪な手段で我々を狙っています。時には一人に対抗しきれない局面も出てくるでしょう。

そんなときに頼りになるのが、「地域の防犯力」。なぜなら犯罪者からもっとも恐れるのは、住民の視線だからです。犯罪者は、死角や暗がりやに潜んでいます。もし犯罪者が身を潜める死角や暗がりがあったら、多くの犯罪は未然に防げます。地域の皆さんで協力し「犯罪は許さない」という姿勢を犯罪者に見せることが大切です。

それにより個人で持ち得ない防犯効果を生み出し、しいては自分の身や家族の安全を守ることになります。

例えば、「えっ!」と思うかもしれませんが、日ごろからの地域のつながり、ただ声を掛け合えるという環境が、多くの犯罪を減らしています。

最近の風潮では、地域の中でも、声を掛け合うことが難しくなっているようですが、「声を掛け合う」という、昔なら普通のことが、実は、犯罪を防ぐ第一歩なのです。



自転車のカゴには防犯用ネットを!

多発している犯罪! (4月末現在前年比)

自転車盗	223件	+13件
車上狙い	210件	+32件
万引き	123件	+35件
ひったくり	22件	+12件

※小田原署管内

ホームページ情報

地域の防犯に役立つ小田原警察署の情報が地域づくり課のホームページから見られるようになります。8月中をめどに製作中ですので、ご期待ください。

小田原警察署 生活安全担当 志田次長



小田原警察では犯罪を防ぐには5つの「かける運動」をおすすめしています。

- ①家を留守にするときには鍵をかける。
- ②家を留守にするのが数日にわたるときには「不審なことがあったり、不審者がいたら110番通報してほしい」と隣近所に声をかける。
- ③自転車、オートバイを駐輪するときは長い時間とせず、必ず鍵をかける。
- ④自動車をとめるときには、車内に貴重品を置かず必ず鍵をかける。
- ⑤近所の子どもに「いってらっしゃい。おかえりなさい。遅いから早く帰りなさい」という声をかける。

簡単なことで犯罪を未然に防げます。皆さんで実行してください。

子どもたちの安全を守れ!

学校への不審者侵入防犯研修会

問 学校教育課 ☎ 331684

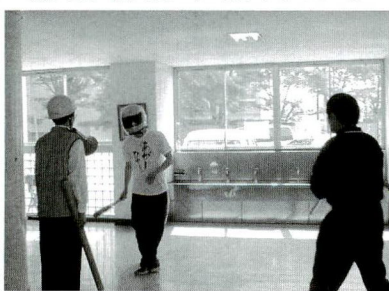


最近各地で学校内に不審者が侵入し児童や学校関係者を傷つける事件が発生しています。幸いにも本市ではそのような事件は発生していませんが、普段は校門を閉めるなどの対策をとっています。

5月27日(木)市内の全公立小・中学校、幼稚園教諭の約50人が参加して防犯に関わる研修会を行いました。

当日は小学校体育館で5年生が学年集会を開いているところ、不審者が侵入し、児童に危害を加えようとしている想定で、学校職員、校児童の避難をどのように行えばよいのかを参観しました。

その後、参加者は小田原警察署員の指導により、校内への不審者侵入時の対応訓練や護身術などの実技研修を行いました。



行革ニュース第3回

【特集】行政改革15年度の成果



平成14年度から新たにスタートした行政改革では、行革の成果目標をコスト削減だけでなく、地域の活性化や、市民サービスの向上にしています。今回は、平成15年度の取り組み成果を報告します。

問 行政経営室 ☎ 33 1305

●地域の活性化

★市民提言会議のメンバーによる後期基本計画提言書の作成
平成17年度から後期基本計画がスタートしますが、それに先立ち、公募市民106人による「市民提言会議」を設置しました。メンバーの自主運営という、市民との協働の新しい手法により、市民フォーラムを開催し、その結果などを提言書にまとめ市長に提出していただきました。

★街かどコンサートの開催

市民団体などの活動の場として、毎月、地下街などで「街かどコンサート」を開いています。15年度には、13回のコンサートに、約8,000人が集まり、中心市街地の活性化に貢献しています。

★構造改革特区制度提案の推進

国の構造改革特区制度を積極的に活用し、規制緩和による地域経済の活性化を目指しています。

15年5月に認定された「都市農業成長特区」では、NPO法人による市民農園の実現などにより、遊休農地約5ヘクタールが解消予定です。

また、第4次提案では市民や企業からいただいた案を基に8件を国に提出しました。

●財政運営システムの見直し

★人件費の削減

業務の効率化や外部委託により、職員数を46人削減しました。15年4月1日現在の職員数は、2,027人で30年前の人数を下回りました。

また、給料・手当の見直しも行ない総額約7億円の人件費を削減しました。

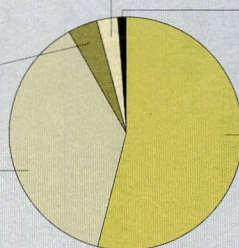
主な削減効果額

市役所本庁舎の省エネ改修(14年度実施)による
光熱費削減 3,739万円

環境事業センターのごみ処理方法の
改良による経費削減 5,400万円

公共工事コスト縮減 4億9,934万円

各種団体運営費の補助金の見直し
1,603万円



人件費の削減 7億961万円
＜給料・手当の引き下げ約4億円＞
＜職員数の削減(46人)約3億900万円＞

総額 13億1,645万円

削減効果額は、税収減の補填や、子育て支援・高齢者のための事業などに充てられています。

★交通災害共済制度の廃止と 交通傷害保険への移行

市直営の共済制度を廃止し、損害保険会社の運営による交通傷害保険に移行しました。

補償内容や加入人数、加入時期などに応じた保険料負担など改善し、市の負担を軽減しました。

●市民満足度の向上

★戸籍住民課窓口のリニューアル (住民異動に関する窓口の統合)

平成15年8月に戸籍住民課の窓口をリニューアルし、転出入などの住民異動に関する届出が1か所で行えるようになりました。

★リサイクルプラザの開設

ごみの減量と再資源化と中心市街地活性化を目指してオープンしたリサイクルプラザ「えこっと」では、環境ボランティア協会の協力を得ながら、大型ごみとして出された家具をリサイクルしています。

通算来場者は7,000人を超え、家具は毎月ほぼ完売状態です。

★地域のみんなで生ごみの資源化

可燃ごみの減量対策の一環として、報徳小学校で生ごみ資源化モデル事業を実施しました。

児童の家庭や自治会の協力を得ながら、学校給食や地元家庭から排出される生ごみから堆肥を作り、1週間あたり170kgの生ごみが資源化されました。

組織運営評価で全国26位!

平成15年、全国10万人以上の都市を対象に、(財)関西社会経済研究所が自治体の組織運営に関する調査を行ない、人事制度や財政運営、情報公開、住民参加など8分野・75項目を基準に「組織運営の巧みさ(ガバナンス)」について評価を行いました。

この調査で、小田原市は、回答した205都市のうち、総合26位となり、行政運営システム改革に熱心な都市として評価されました。

政策総合研究所通信

問 政策総合研究所 ☎ 33 13 15

政策総合研究所では新たな研究員を迎え、今年度の研究活動が始まりました。今年度は「地域コミュニティでの問題解決の仕組みづくりに関する実践的研究」と「コミュニティレベルでの善意の循環実証実験」を行います。

一人では解決できない

一人暮らしの人が増えるなど、家族の形がかつてとは大きく変わっており、

り、身近な地域に起きる暮らしの問題は一人の力ではもはや解決することができません。身近な地域で協力して、問題解決を図っていくことが必要になってきています。

昨年度は、こうした状況を背景に、コミュニティがどのようにまとまり、どのように暮らしに必要なサービスを担い、いかに地域の総意を形成するかの根源的な課題に取り組みました。

また、善意の交換・循環を顕在化させ、人々の助け合いを促すことを目指し、「徳」と名付けた地域助け合いシステムを提案し、実験をふまえてその可能性と課題を明らかにしました。

地域で行動する研究

今年度の研究は昨年度のこれらの研究を一步進めて、具体的に地域に入って検討します。

「地域コミュニティでの問題解決の仕組みづくりに関する実践的研究」は

いくつかの地域において、その土地に即したコミュニティによる問題解決について、住民のかたと話し合いながら研究します。学識経験者と職員研究員11人で取り組みます。

また、「コミュニティレベルでの善意の循環実証実験」は、昨年度の研究で明らかになった課題を改善するとともに、身近な地域での助け合いが活発になるかを検証します。学識経験者、市民研究員、学生研究員、職員研究員16人で行います。

＜今年度活動するスタッフ＞

—学識経験者—

●名和田是彦研究顧問

○東京都立大学法学部教授。国や地方自治体でコミュニティの問題に関わっている。

○担当…地域コミュニティでの問題解決の仕組みづくりに関する実践的研究

●吉田道郎上席研究員

○早稲田大学都市・地域研究所客員研究員。全国各地の市町村でまちづくりに従事している。

○担当…コミュニティレベルでの善意の循環実証実験

—市民研究員—

12人(男性8人、女性4人)

—学生研究員—

1人

市長随想

東洋のリヴィエラ

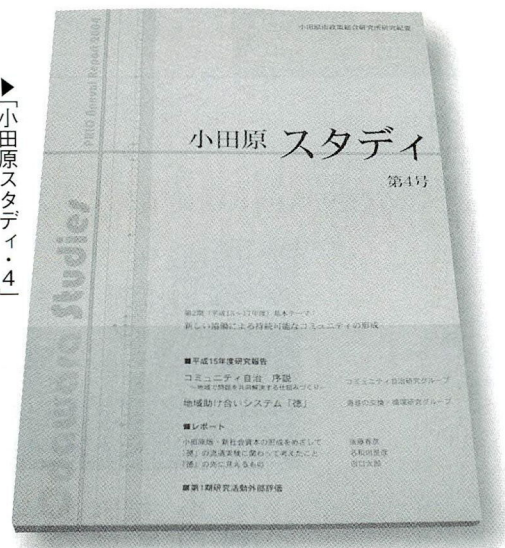
文 小澤良明

梅雨の晴れ間の一日、早川(根府川)間を歩いた。明治期、ドイツの建築家ブルーノ・タウトが遊び、「東洋のリヴィエラ」と絶賛した小田原の至宝、片浦をあらためて自身の目と心で確かめようと思ったのである。

早川・石橋農道を少し入ると、いきなり眺望絶佳(大げさでなく)である。眼下に広がる青い海原、白い汀線、箱庭のように美しい小田原の市街地。遠くかすかに横浜のランドマークタワー、緑濃い真鶴半島、空と海に溶け込むような大島の淡い影。

強い陽射しを心地よく感じながら石橋の集落の上に立つと、トンネルからゴウ音と共に殆んど同時に新幹線と在来線がとび出してきた。急峻な片浦丘陵を貫いてせめぎあうように走る日本列島の二大動脈。多分ここで見られない、鉄道マニアならずとも垂ぜんの光景であろう。

久しぶりに訪れた佐奈田神社はあいかわらず静寂の中にあった。文三堂にも手を合わせ、石橋山の合戦に惨敗した頼朝の無念を想う。ねじり畑の異名のある古戦場に立つと、平家方三千、源氏は僅か三百、雑木の生い茂るこの急傾斜地で一体どういう戦い方をしたのか。衆寡敵せず、実際のところ殆んど戦さらしい



▶「小田原スタディ・4」

昨年度の研究成果「コミュニティ自治序説」地域で問題を共同解決する仕組みづくり、「地域助け合いシステム・徳」を掲載しています。ご希望のかたは、政策総合研究所まで(無料)

☎ 33 13 15

メール: prio@city.odawara.kanagawa.jp

「心の健康・心の教育」掲示板

もうしばらくすると、子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。自分で使える時間がより一層増えます。子どもに何をしてお過ごししてほしいですか。さて、静かなる教育論議「心の健康・心の教育」掲示板、今回のテーマは、「読書」についてです。

問 学校教育課 ☎ 331682

シリーズ パート4

「静かなる教育論議」でお寄せいただいたご意見

● 活字離れが進んでいると聞きます。小学校低学年には読み聞かせの時間を、小学校高学年・中学生には読書の時間を持たせてください。ゲームよりはおもしろいはずです。

● 最近の子どもたちは本を読むことが少なくなったと思われる。考える力を身につけさせるためにも、読書の機会を与えたい。テレビ・パソコン・携帯電話など、知識・情報を得るには便利な時代になってきた。

しかし、本の大切さを忘れてはならない。子どものときこそ、本をたくさん読むべきではないか。大人が良い本を選び、子どもに与えていきたい。

ここ数年来、子どもの活字離れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されてきました。

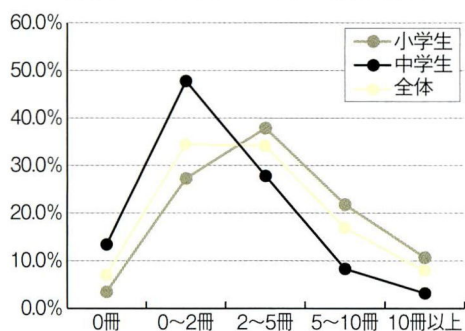
読書は、子どもが言葉を学んだり、創造力を豊かなものにしたり、心を落ち着かせたりとさまざまな効果があります。

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、県では、平成16年1月に「かながわ読書のススメ」神奈川子ども読書活動推進計画」を策定しています。

本市でも、これら計画などに基づき、読書活動をより一層推進するため、授業開始前の10分～15分程度を利用して本を読む「朝の読書」、地域のボランティアを活用した「読み聞かせ」、市内の小・中学校へ一律5万円を書籍代として助成する「読書離れ改善事業」などさまざまな取り組みを行っています。

これらの事業を通して、「読書の習慣が身についた」「本が好きになった」

市内小・中学生の1か月の読書冊数



「平成15年度神奈川子ども読書活動推進計画」に基づいた読書についての調査をもとに作成

など読書に関する意識の向上はもとより、「落ち着いた気持ちになる」など精神面での安定が図られ、「心の教育」の一環としても効果が現れてきています。

長い夏休み、これぞと思う本を探し、読書の醍醐味を味わってはいかがでしょうか。

戦さにはならなかったのではなからうか。しばし、真田与一と文三家康の霊に想いを馳せた。

たわなに実るビワを狙って、二匹の野猿が目の前を横切って行く。急に直下に開けた米神はまさに漁村の佇まいである。米神漁港の先には大型定置網のブイの群れがゆったりと波間に漂っている。過去の何回もの急潮による流失を教訓として開発、導入された新型定置網である。一番奥の金庫網の中にはどれほどの海の幸がいるのか、想像するのも楽しい。



樹の間がぐれに根府川駅が見える涯上に立つと、真下の海の澄んだ美しさに息を呑む。海底の岩が、透명한エメラルドの中で鮮やかな縞模様を見せている。

青い海、白い雲。小さな船影。〴〵はるかに見える青い海、お船が遠く霞んでる。思わず口ずさむ。下る道の途中の農家でオレンジをいただいた。風光も人情も美しい片浦筋である。

片浦には四つの集落がある。それぞれ上に登る農道はあるが、横につなぐウォーキングルートを開発したい、そして「東洋のリヴィエラ」から「日本の片浦」へ、そんな想いで歩いた汗まみれの日であった。

ブロック塀などの 補助金制度が変わりました!!



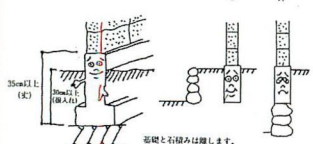
あっ! 危ない



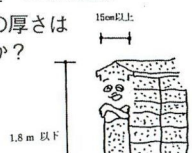
あなたの塀は大丈夫?

塀の自己診断 —ブロック塀の場合—

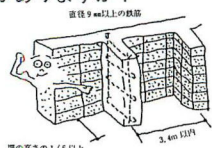
①基礎があり、かつ根入れの深さは大丈夫ですか? また、基礎が石積の上にのっていますか?



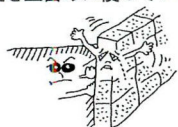
②高さや壁の厚さは
どうですか?



③控壁がありますか?



④壁を土留めに使っていませんか?



※石塀などの場合は基準が異なりますのでご注意ください。

- ①補助の対象
道路(※1)に面した危険な塀(※2)を
- ①基準に適合する方法により補強する工事
- ②撤去する工事
- ③撤去し、基準に適合する安全な構造の塀などを築造する工事
- ④撤去し、基準に適合する生け垣を設置する工事
- ※1 道路
- (1) 国、県、市その他の公法人が所有し、または管理する道
- (2) 建築基準法(昭和25年法律第201号)第42条に定める道路
- ※2 危険な塀
- (1) 傾斜が著しい塀
- (2) 壁内に鉄筋が適正に配置されていない塀
- (3) 石積基礎である塀またはこれに類する塀
- (4) 風化またはひび割れが著しい塀

②補助金の算定

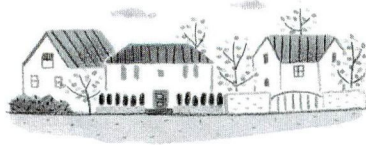
施行される工事ごとに標準的な額を積算し、次の限度額を超えない範囲で補助金を交付します。

①撤去工事…10万円

②補強工事…5万円

③築造工事…15万円

④生垣工事…15万円



ここという塀とは…コンクリートブロック、コンクリート、石材などにより築造した塀・門柱で、道路面からの高さが1mを超えるもの。ただし、擁壁の上に築造されている場合は、塀の高さが0.6mを超えるもの。

ただし、補助の対象とはならないものがありますので、事前に防災対策課までご相談ください。

問 防災対策課

☎ 331856

情報公開・個人情報保護制度の運用状況について

情報公開制度の運用状況

平成15年度中に公文書の公開請求を行ったかたは39人、請求件数は56件でした。
主な請求内容・処理状況は、左表のとおりです。

	請求内容	担当課	決定	非公開理由
1	建築計画概要書	建築指導課	公開	
2	小田原アリーナ業務委託(空調電気)に関する過去の入札参加車参加業者名、落札業者名、落札金額	スポーツ課	公開	
3	尊徳記念館施設利用報告書(〇〇講座)平成13年度～平成15年度分	生涯学習課	一部公開	個人に関する情報
4	平成14年度に小田原市から小船森土地区画整理組合へ通知した文書	都市整備課	一部公開	印影偽造防止のため
5	〇〇地点の境界確認に関する報告書	建設総務課	公開	
6	福祉文教常任委員会(平成15年9月11日開催)の会議録	議会事務局	公開	
7	境界査定経過報告書	建設総務課	公開	
8	日本国有鉄道清算事業団との土地売買契約書(国府津4丁目)	土地開発公社	公開	
9	神奈川県私立中学高等学校協会書式の「学習成績一覧表の評定分布図」	学校教育課	公開	
10	救急出場報告書	消防総務課	一部公開	個人に関する情報

※平成15年4月1日に、小田原市情報公開条例を施行しました。

この条例は、それまでの小田原市公文書公開条例より、公開する範囲をできるだけ広くするために改正し、市民の皆さんにとってより利用しやすいものとなりました。

市民の皆さんの請求に応じて、市の公文書を公開する情報公開制度と、市が管理している個人情報をご本人に開示などをする個人情報保護制度。これら2つの制度の15年度運用状況を報告します。

問 行政情報センター 331288

個人情報保護制度の運用状況

平成15年度中に個人情報の開示の請求を行ったかたは18人、請求件数は19件でした。

また、市が保有している個人情報の内容の訂正を求める請求や、その取扱いは是正を求める申出は、ありませんでした。

主な請求内容・処理状況は、左表のとおりです。

	請求内容	担当課	決定	非開示理由
1	市立病院のカルテ	医事課	開示	
2	診療報酬明細書	保険課	開示	
3	建築確認申請書	建築指導課	開示	
4	土地境界確認願取下書	建設総務課	開示	
5	境界確認(不成立)報告書	建設総務課	開示	
6	印鑑登録証明書交付申請書	戸籍住民課	一部開示	開示請求者以外の個人情報が含まれているため



なお、平成15年度の情報公開・個人情報保護制度の運用状況の詳細をまとめた報告書を、行政情報センターで配布する予定です。

また、市のホームページでも提供する予定となっていますので、ご覧ください。

ホームページ

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/gyousei_sounu/index.html

ip/gyousei_sounu/index.html

※小田原市情報公開条例では、市が出資などを行っている団体に対し、情報公開に努めるよう規定しています。平成16年4月1日に財団法人小田原市公益事業協会、財団法人小田原市学校建設公社、財団法人小田原市体育協会の3団体が指定団体となりました。

あなたのもとに、 身に覚えのない請求が届いたら！

最近、身に覚えのないアダルト有
料番組の利用料などの請求にか
かわる相談が、当消費生活センタ
ーに多数寄せられています。5月に寄せら
れた相談のうち、架空請求・不当請求
に関するものは、全体の約七割を占め
ています。

神奈川県では架空請求の被害を未然
に防ぐため、「架空請求被害防止キヤ

ンペーン」を8月末まで実施すると
発表しました。

もしも、あなたの所に、このよう
な請求が届いた場合、次の点を参考
にして、冷静に毅然とした態度で対
応してください。

① 請求の例（左記…ハガキの場合）

555

小田原市

有料番組未納料金に対する請求督促通達書

このたび通知いたしましたのは、貴方様のご
利用なられた「有料番組の未納金」について
運営業者様から当社が債権譲渡を受けた通知
（民法467条による）です。よって**大至急**当
社のほうまでご連絡ください。**期限までにご連
絡のないお客様に関しましては、支払いの意
志がないものとみなし、ブラックリストに登録し、
当社回収員が御自宅に直接回収に伺うほか、
裁判所での手続きを進め、裁判発展というこ
とも考えています。**その際には、会社等へ給
料の差し押さえ手続きや、御本人様の財産等
の差し押さえ手続きを行わせていただきます。

この通達書は最終通告になります。

担当者直通 080-XXXX-XXXX
最終受付期限 平成16年7月〇〇日
お客様コード NS-9999999

(株)◆◆債権管理センター
〒100-1111
東京都〇〇区□□1-1-1 △△ビル

これは、一例です。

ハガキ以外でも、封書や電子
メールで届く場合もあります。読んだ人を不
安にさせ、慌てさせるような内容です。

消費生活相談窓口のご案内

相談日 月曜日～金
曜日（年末年始、国
民の祝日・休日を除く）
相談時間
9:30～12:00
13:00～16:00
相談ダイヤル
☎33-1777



また、西さがみ連邦共和国消費生
活センターWEBページCACの「よ
くある質問」も参考にしてください。
ホームページ
<http://www2.city.odawara.kanagawa.jp/ecac/index.jsp>

- ② 対処方法
① 身に覚えのない請求であれば支払
わず、無視する
- ② 相手に電話しない。個人情報には絶
対に教えない
- ③ 請求書などは保管する
- ④ 万一支払ってしまった場合、脅迫
などある場合は警察に相談する

市職員が私服で勤務!? 私服の着用試行 開始します

問 職員課 ☎33-1244

コラム de 情報



市職員の事務服はこれまでは
制服を着用していましたが、7月
1日から勤務時間中の私服着用を
試行することになりました。これ
は、寒暖の変化に対応した服を着
用することによる省エネや職員に
個性と工夫に満ちた発想を醸成さ
せること。また、少しでも市民の
皆さんに親しんでいただけるよう
に、との目的によるものです。着
用に当たっては、市民の皆さんに
不快感を与えない清潔感のあるも

まちづくりについて真剣に考えよう!!

問 小田原まちづくり応援団 ☎320964
Eメール: odawara_machien@yahoo.co.jp

第1回小田原まちづくりフォーラム

小 田原市政策総合研究所から立ち上がった小田原まちづくり応援団(以下「まちえん」)が平成15年4月5日にNPO法人の設立総会を開き、特定非営利活動法人になりました。

まちえんは、あたかもお蔵入りしたかのような「千年余年間に蓄積された小田原らしい生活文化」を虫干し、将来にわたって繁栄する小田原らしい「交流の舞台」を中心市街地に再構築しようと

かのような「千年余年間に蓄積された小田原らしい生活文化」を虫干し、将来にわたって繁栄する小田原らしい「交流の舞台」を中心市街地に再構築しようと



まちづくりフォーラム

テーマ

「こんなにある! 市民と地域の底力」

日時 7月10日(土)13:30~16:30
(開場13:00)

場所 市民会館



内容

◆まちなか再生の構想報告

- ①「おだわら千年蔵構想について」
内藤英治さん(NPO法人 小田原まちづくり応援団常務理事)
- ②「(仮題)マニフェストから」
小澤小田原市長

◆まちなか車座

テーマ 「こんなにある! 市民と地域の底力」・「まちなかの課題や方向性の共有だけで終わらず、"これならいける!"という実感を」

(ゲスト)

- 原義明さん(小田原商工会議所会頭・小田原TMO推進委員長)
- 市民団体の皆さん
- コーディネーター: NPO法人・小田原まちづくり応援団

する「おだわら千年蔵構想」を掲げています。

まちづくりフォーラムでは、現在

中心市街地が抱えている課題やこれからのまちづくりのあるべき行方を探ります。

二宮尊徳翁生誕の地に今甦る、

問 農政課 ☎331494

田植えの姿、田植歌

小 学生が田植えに挑戦!これは田植えから稲刈りまでを体験して

もらい、米の大切さを学んだり、郷土の偉人・二宮尊徳翁の教えや土、緑などの自然環境を学んだりするために昭和62年度から行っている水稻栽培体験

学習事業です。

市内の水田で報徳小学校と桜井小学校の五年生が参加して行われ、子どもたちは地元農家(桜井稲作組合)のかたから指導を受けながら、苗(喜寿もち)を田んぼに足を取ら

れたりしながら植えました。

田植えの作業中には栢山田植歌保存会による「栢山田植歌」の披露があり、昔ながらの田植え風景に華を添えました。

10月中旬ころには、稲刈りをして収穫をする予定です。



久野霊園行き 直通臨時バスの 運行

お盆の時期に合わせて久野霊園への直通臨時バスを運行します。

問 伊豆箱根鉄道小田原バス営業所 ☎34-0333

期日 7月13日(火)・14日(水)

発車場所と時刻

●行き

小田原駅西口発

9時~15時(30分間隔)

※12時は運休

●帰り

久野霊園発

9時30分・15時30分(30分間隔)

※12時30分は運休

料金(片道)

大人600円、子ども350円

の、そして仕事に適したものを心がけていきます。
試行期間中は制服を着用している場合もありますが、職員は今までと同じネームプレートを着けています。
また、臨時職員も同様に私服となり、ネームプレートも今までより大きく、職員と同じサイズになります。

小田原城 今昔物語

現在の小田原城は、江戸時代の姿を残していませんが、古い写真によってその姿を見ることが出来ます。今の姿と比べてみましょう。

問文化財保護課 ☎33-718

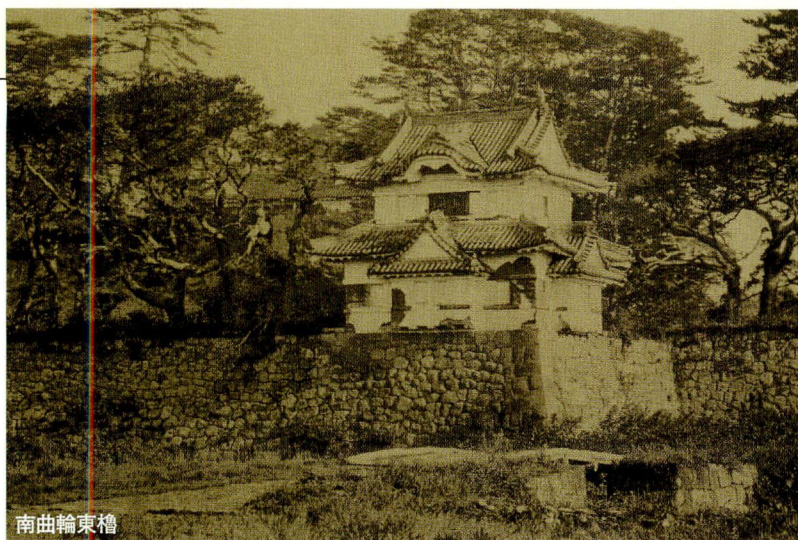
写真でみる 小田原城の今と昔

江戸時代の小田原城にはさまざまな建築物が存在していましたが、そのほとんどが明治維新後に取り壊され、さらに大正12年の関東大震災で石垣もほぼ全城が崩れ落ちてしまいました。そのため、今では江戸時代の姿を直接見ることはできませんが、古い写真を通してその実像を一部確認することが出来ます。

【南曲輪東櫓（長崎大学付属図書館所蔵）】

現在の郷土文化館の位置には二重櫓が建っていました（上写真）。

お茶壺橋も当時は随分質素な橋でした。この曲輪の西端（写真左方向）にも同じような二階建ての櫓がありました。



南曲輪東櫓

【二の丸東堀（絵葉書「小田原城趾御用邸」）】

お堀端通りから二の丸東堀を撮影した写真です。二の丸の石垣が今よりも随分高く、二の丸御殿を守る威厳のある姿を見えています。

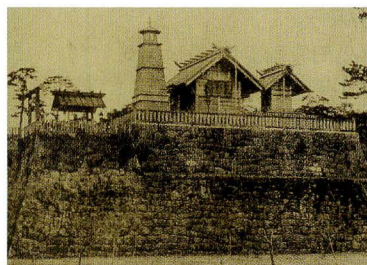
明治36～37年

頃と思われますが、この約20年後の関東大震災で石垣や櫓は崩れてしまいました。昭和初期に石垣は積み直され、この時に「学橋」が架けられたのです。



【天守台と大久保神社（絵葉書）】

あれっ？と思われたかたも多いのではないのでしょうか。今の天守閣の所です。廃城により天守閣は壊されましたが、石垣はそのまま残され、その上に藩祖を祀る大久保神社が造られました（明治

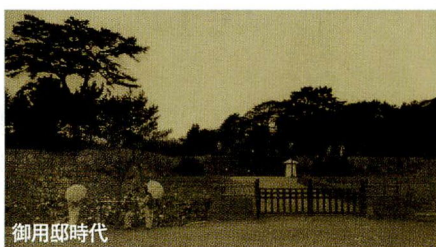


26年）。このように本丸などに旧城主を祀る神社を建立する例は他にもよく見られます。燈明台が洋風なのは、当時の欧化趣味の影響でしょうか。大久保神社はその後八幡山に移設されました。

【馬出門（絵葉書「小田原城趾御用邸」）】

旧小田原警察署付近から「めがね橋」「馬出門」を撮った写真です。

明治34年に、ここより内側は御用邸となり、馬出門はその正門として一部改修されました。門の横には警察官の詰所が見られます。



御用邸時代

ご紹介した写真以外にも古写真は残されています。主な写真集をご紹介しますので、図書館で閲覧してみたいかがですか？

「一枚の古い写真」小田原市立図書館 「昨日の道去年の坂」桜木達夫編著
「小田原市史」別編・城郭」小田原市

昭和23年生まれ。長崎県出身。長崎県立松浦高校、神奈川県警察学校を経て、鎌倉警察署に赴任。現在は厚木警察署刑事課強行犯係に勤務。妻、一男一女の四人家族。南鴨宮在住。



輝く小田原人

ベンチプレス世界チャンピオン

加藤 勇次^{ゆうじ}さん

警察官（小田原市在住）

警察官として激務の日々を過ごす中、パワーリフティングという競技の第一線でご活躍されている加藤勇次さんをご紹介します。

「よろしくお願いします」。凶悪犯罪に目を光らせる姿が想像できないくらい、温かなまなざし。そして、ワイシャツ越しにのぞく逞しい胸板。小田原アリーナ執務室の片隅で和やかな雰囲気の中、お話を伺いました。

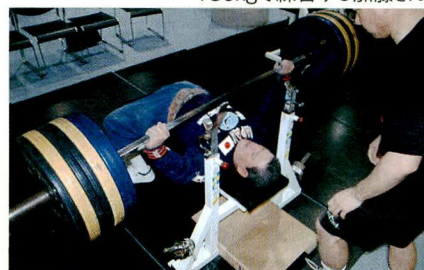
高校時代、地元で開催された国体の競技会場でウエイトリフティングが行われていたのが最初の出会だったそうです。当時、その関連器具に触れるにつれ、徐々に興味が高まってきました。本格的に身体を鍛え始めたのは、警察学校を卒業し社会人生活をスタートさせた頃。「あの頃ですね。毎晩ウエイトトレーニングする事が日課になり、その楽しさにのめり込んでいきました」。多忙な警察業務の合間をぬってトレーニングを行うことで、その仲間との交流を育み、精神的にも肉体的

にもよりいっそう充実した毎日を送ることができたそうです。

30才の頃に小田原へ移り住み、初めて競技会に参加したのが42才。全日本マスターズ選手権で優勝し、その後も数々の大会で栄冠を勝ち取られました。そして、先頃4月に行われた世界マスターズ選手権で通算3度目の世界チャンピオンに輝き、その際に記録したベンチプレス185.5キログラムは自



180kgで練習する加藤さん



己の持つ世界記録を更新するという結果になったそうです。「継続は力なり。一人でマイペースにやれるところが魅力です。何事も毎日コツコツと努力することが大切ですね」。今後の目標は60才を過ぎても現役の競技者でいること、さまざまな人たちにその面白さを伝えること。「でも、休日は妻と旅行したり、ドライブに出かけたりもたまにしますね」。照れくさそうに家族への想いを語る加藤さんでした。

小田原彩時記

全国広報コンクールで
小田原市が受賞!

平成16年度
全国広報コンクール
広報おだわら 4席!!

☎広報広聴室 ☎33-1261

市民の皆さんと市との絆をつくる大切な役割を担う「広報おだわら」が広報紙・市部で4席受賞という形で評価されました。



審査員からは、「女流作家の寄稿、市長対談、専門家の意見、市の支援事業などを本文とし、裏表紙まで、優れた構成力を感じさせる」読み物と、市の方針、市の事業などに、ほのぼのとさせる写真が加わり、市民の関心を引きながら役立つ情報が盛り込まれている」との評価をいただきました。

これからも今まで以上に皆さんに愛される広報活動を目指します。

●受賞号 広報おだわら

平成15年11月1日号

特集 子育てを考える

過去の受賞 平成8年2席／平成9年5席／平成11年佳作／平成13年2席／平成14年6席

申込 青少年課 ☎33-1723